

令和4年度 農福連携推進研修会開催要領
テーマ ～実践事例から考える 農業での施設外就労の可能性～

1. 目的

農福連携の中でも施設外就労は小規模な障がい者就労支援事業所でも比較的取り組みやすい方法で、また農家からの期待も大きい。そして、実践事例の中には、福祉側では障がい者の社会参画、農業側では経営改善に結びついた事例も見受けられる。そこで、実践事例を通じて福祉と農業の両面から農業での施設外就労の可能性について考え、さらなる取り組みを推進する。

2. 主催

島根県
特定非営利活動法人 島根県障がい者就労事業振興センター

3. 日時・場所

令和4年8月30日(火) 13:30～16:30
出雲市駅南町1丁目5番地 ビッグハート出雲 白のホール

4. 内容

1) 県内実践事例発表

(1) 特定非営利活動法人なかよし 施設長 明正 淳 氏 (出雲市)

ぶどう栽培農家との施設外就労を通じて、利用者がぶどう農家で短期有期雇用に移行。また、4つの福祉事業所と協同してトマトミックスソース製造に取り組むほか、菓子製造、内職等と施設外就労を組み合わせ、利用者に合った福祉サービスを提供する。障がい者就労支援事業所における農福連携の意義や課題などを事例報告。

(2) ぶどう栽培農家 澤田 勝 氏 (出雲市)

施設外就労4年目。施設外就労による農業経営面での効果や障がい者の受け入れに際して留意していること、地域での取り組み拡大に向けての課題など、農家側から施設外就労の意義や課題などを事例報告。

2) 基調講演

CTC ひなり株式会社事業部浜松事業課 課長 小松孝行 氏

静岡県浜松市にある伊藤忠テクノソリューションズ株式会社の特例子会社。
浜松市内の農業法人等7農業経営体と周年で施設外就労を行う。基本となる委託農家・法人との信頼関係構築のポイントおよび利用者のスキル向上対策と指導面の工夫、施設外就労の効果などを紹介。

3) 島根県障がい福祉課からの情報提供

島根県の農福連携に関する施策概要等を紹介。

4) 農福連携事例パネル展示

県内での特徴ある農福連携活動事例をパネルで紹介。会場入り口前通路に常時展示。

5. 参集者 県内福祉事業所、関係機関、農家等 約120名

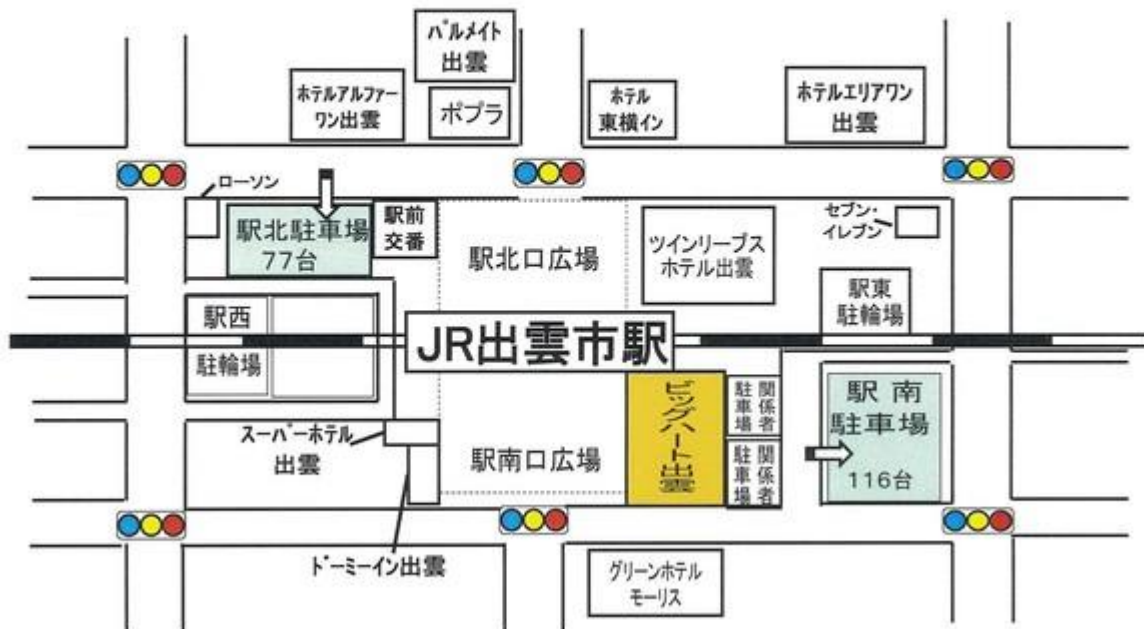
6. その他

1) 新型コロナウイルス感染状況によっては、開催延期あるいは、基調講演をリモート形式で行う。

2) 参加者に新型コロナウイルス感染症の発症の疑いが生じた場合、保健所等関係機関への情報提供や、濃厚接触者と疑われる場合の連絡に、参加者名簿を使用することがある。

3) 駅南・駅北の各市営駐車場(裏面参照)利用者は、駐車場料金を無料にできるので駐車券を受付に提示する。

ビッグハート出雲 周辺地図



送付先

NPO法人 島根県障がい者就労事業振興センター あて

FAX 0852-67-2672

(TEL 0852-67-2671)

添書は不要です

令和4年度農福連携推進研修会 参加申込書

所属名 :

申込代表者職氏名 :

連絡先(電話) :

参加者

職名	氏名

申込期限 8月19日までに送付ください